

千代田界隈のレトロな風景



朝礼台

夏休み。今年のラジオ体操はどうするのでしょうか？

(星ヶ丘小学校にて)

み
ど
り
の
風

人・ひと日記

2021.8.1
-NO.275-

発行 社会福祉法人 悠朋会	
千代田	相模原市中央区千代田2-4
デイサービスセンタ	ヘルパーステーション千代田
介護支援センタ	042-704-0261
児童クラブ	042-704-0261
いちばん星	15865-102881

ホームページアドレス
www.yuhokai-kaigo.com

緊急事態宣言やワクチンの接種が進んでいるものの毎日のニュースで報ぜられる国内の感染者数は減るどころか急拡大している。オリンピック村には外国選手が集まり始めているが陽性者と濃厚接触者の数がじわじわと増えている。大手のスポンサーやが会期中のCMを控える。要人の来日見合わせ、天皇以外の皇室の開会式欠席、選手の出場辞退、そして無観客。
1964年、東京オリンピックを控えた今頃は「♪ハーアーあ
の日ローマでながめた月がソレ
・・♪」三波春夫が陽気に歌う東京五輪音頭が町中に流れ、
その時を待ち望んでいました。
ワクワク感どころか緊急事態宣言下のオリンピック決行は、たとえ無事に終わつたとしても英断とは言えないでしょう。あの戦争に突入していく無謀な判断とやり方がダブります。

6月のこと。イスラエルの占領下にあり、度重なる戦火に見舞われているパレスチナ自治区ガザが再び空爆を受けて200人以上の犠牲者が出ている時。NHKテレビ「日曜美術館」で上條陽子さんの特集番組が組まれました。上條さんは相模原在住の画家。新人の頃は安井賞という大きな賞を受賞。独自の作風を模索しながらパレスチナを初めて訪れてから20年の歳月。寄付で集めた画材を参考して現地のこどもたちに絵や造形作品の指導をしたり、有能な作家を日本に招待する活動を続けています。テレビ放送のタイミングで市民ギャラリーにもいくつかの作品が展示されました。私たちにとってイスラエルとパレスチナは遠い国、つみかさねられた歴史に触れることがあります。上條さんの作品は千代田デイサービスセンターの食堂にも展示されています。センター創設時に描いてもらつた作品です。

七タイベント

《すごろくゲーム（七夕ver.）》

7月7日（水）は七タイベント☆梅雨真っただ中で残念ながら快晴とはいきませんでしたが、七夕気分を味わっていただきたく、すごろくゲームを行いました。

小堺一機の『ごきげんよう！』を彷彿とさせるような大きなサイコロを振って頂き、織姫と彦星の駒を進めていきながらクイズ等を楽しみながらゲームを楽しみました。最終的には無事に織姫と彦星は盤上で再会でき、素敵なひと時を過ごすことが出来ました。



《七夕ランチメニュー》

お昼は七夕特別メニュー☆ 炊き込みご飯に星の形がちりばめられた照り焼きチキンプレート、汁物には七夕と言ったらそうめんにスイカで彩られ、夏を感じることの出来るお食事を楽しみました。



おやつ作り～涼風ババロア～

いつものおやつ作りはホットプレートを使って作る物が多いですが、今回は夏らしく、冷蔵庫で冷やして作るババロアを作りました☆

ヨーグルトベースのババロアにブルーベリーソースを添えて♪ 梅雨も明けて一気に暑くなってきましたが、みなさんも涼しげに召し上がってきました。

熱中症、脱水症も多くなる時期ですので、皆さんも水分摂取を忘れずに涼しく過ごしてご自愛ください☆



新型コロナウイルスが猛威を振るう中、コロナ対策の希望として注目されているワクチン接種ですが高齢者向けの接種がだいぶ進んできています。相模原市では7月19日現在高齢者に加え、58歳以上の方の接種予約が行われています。

ワクチン接種の予約については電話またはWEBで行うことになりますが、電話予約はなかなか繋がらず、繋がっても予約終了になっているのも分からぬこともあります。WEB予約の方がスムーズですが、携帯やパソコン等を使用することになり、どのように予約を取ればよいのか、操作方法も分からず苦労されている高齢者の方も多いかも知れません。どのような接種希望の高齢者の方で予約が出来ない方は私たちにご相談ください。



高齢者向けの接種が進む一方で実際に高齢者の方への支援を行う介護職等現場の方への接種はまだ行き届いていないのが現状です。

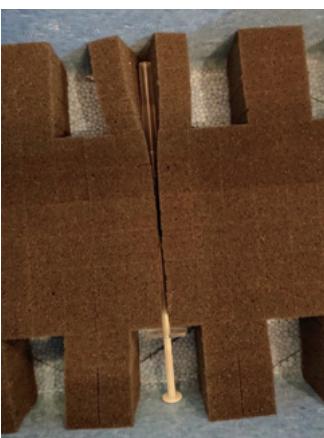
そんな中國立病院機構相模原病院の病院長が、最前線の介護現場で働くヘルパーとケアマネジャーが優先接種できていないことを知り、積極的に接種できるようにするべきだと動いてくださいました。ケアマネジャーの職能団体である「さがみはら介護支援専門員の会」と、ヘルパー事業所の連絡会である「ヘルパー協会」に話があり、必要な量ワクチン確保をして優先接種して頂いています。

また相模原市でも、自宅療養等を余儀なくされる感染者に対しサービスの提供を継続する必要があることから、ワクチンの接種を希望する介護従事者に対して優先的に接種できるよう取り組みが始まりました。

利用者だけでなく介護従事者も少しずつワクチン接種が進み、少しだけ安心できる日が近くなっています。



有志でのワクチン接種プロジェクトも活動開始です。みそのクリニックの小野澤医師の呼びかけで、主治医によるワクチン接種が難しく、ワクチン会場に行くのが困難な方を対象に、医師、看護師、運転手、事務員が有志で集まりご自宅にてワクチン接種をするプロジェクトです。120名ほど申し込みがあったそうです。



書道	12日(木)、27日(金)
体重測定	9日(月)～15日(日)
夏祭り	21日(土)、22日(日)
誕生会	25日(水)～31日(火)



田坂さんは長く製造業に勤められ、定年後の大病を克服されながら多方面での趣味を楽しんでいます。しかもその趣味を究めるレベルの素晴らしい作品ばかりです。今日はその「ぐ一端を紹介させていただきます



「自宅をお尋ねするとお庭の草花に目を奪われます。今の時期には玄関脇のサボテンが素晴らしいです。2mを超える大きさに団扇ぐらいの大きさの葉とその葉の先に咲き乱れる黄色の花、ここで見られる時にサボテン特有の棘に注意です。散歩途中の方からお庭の草花の種や根をいただけないかと相談を受けお譲りする」とも日常のこととの様です。



お部屋に伺うと金魚、メダカが迎えてくれます。金魚やメダカに酸素補給は欠かせませんが、今年の春先の深夜に停電があり、金魚を思う田坂さんは止まつてしまつた酸素供給機からチューブを外しご自分の息で空気を送り込んだそうです。

20～30分ほど続けたよ、金魚と一緒に住んでいるから当たり前だと笑顔でお話しされる表情に胸があつくなります。次にこれを外すわけにはいきません。

篆刻（てんこく）です。フリー百科事典で調べると、印章を作成する行為。中国を起源として主に篆書を彫る、書体や図章を彫ることもあると言われるそうです。



日本では室町時代に流行し、その後現代まで継承されているとのことです。が、掲載の写真にて素晴らしい作品をご覧ください。不思議と気持ちが落ち着きませんか？そこに時代を超えて長く伝わる理由があるかもしれません。日常生活では、早朝に畑にいつて食物の手入れや収穫を楽しみにしているとのことです。そのようなお話に加えて、色々な趣味の楽しみ方をお話しされる時の生き生きとしたお顔の表情がとても素敵な田坂さんです。

編集後記

今年もまた暑い夏がやってきました。コロナ禍でなければどこか遠くへ旅行に行きたい所です。今年の夏は東京オリンピックが開催されます。せっかくなのでお家でゆっくりと競技を観戦したいと思いま。コロナに感染せぬよう、テレビで観戦。